

イタリアを楽しく学ぼう!!



「CAMELIA (カメリア)は、イタリア大好きな会員が集まってできた「ALT Ashiroishi」のサークルです。

もちろん、イタリア語を学ぶだけでなく、イタリア文化に触れるために、イタリア映画を見て感想を話し合ったり、イタリア料理を作って食べたりと、メンバーが興味のあることを企画し楽しく学んでいます。

「みんなイタリア語をペラペラ話せるの?」と疑問をもたれる方も多いかもしれませんが、一からスタートという人がほとんどです。

現在のメンバーは、「イタリアに住んでいた」「旅行に行っていて好きになった」「近々行きたいと思っている」など、イタリア大好きな3カ国・6人です。

毎週金曜日、夜7時からALTAを会場に活動しています。イタリア好きな人の参加をお待ちしています。

問い合わせ ALT Ashiroishi (白石市勤労青少年ホーム) ☎25-3720



市民文芸 応募方法

一人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0257白石市字互理町37-3、白石市情報センターへ。短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

歌壇

高橋辰男 選

手をつなく事もなかりし五十年足の弱りし夫
石沢 敏子
おおかたはわれに用なきチラシでも読めば
佐藤 ひで
しく小さき夢追う
齋藤 光子
床の間に置かれしままの大正琴ふるしきかぶ
高子うこん
り弾かるる日待つ
年暮れに購いし鉢のシクラメンひと冬部屋
八嶋 正子
を明るく飾りぬ
雪多きこの冬の庭アララギも雪の重さに耐え
太田 敏子
かねており
陽を追い朝な夕なに植木鉢移すもたのし日
石田みどり
課となりぬ
待ちわびし嬉しき春の虹の色陽ざしにそつと
村山美代子
開きし椿
ひなまつりに一度のお出ましにお久しぶり
阿部みさ子
と三つ指をつく
夜も更けて我が家に戻りし午前二時お風呂に
遠藤クニ子
入りて気もち安らぐ
評一首目、甘美な愛を超越した二人の絆が
歌われた。今ごろになって、と夫の手をとり
ながら考える。二首目、新聞折り込みのチラ
シだるう。買わなくとも小さき夢は女性なら
ではもの。三首目、一時は熱中した大正琴
だが、床の間で今はしばらくお休みの状態だ

俳壇

遠藤秋尾 選

城山の春よぶ雨となりけり
岩澤 伍峯
沼守の帽子振る中鳥帰る
高橋 正男
夫婦して米寿なりけり山笑ふ
山家 弘子
ふる里のこけしも並べ離れる
石田 睦春
丁寧にもほくす種子を蒔く
三浦 愛嶺
目刺焼くそのほろ苦さ好みけり
佐藤 周子

柳壇

山田風流 選

二重飛び出来てはしゃやく子下萌ゆる
日下 文
屋根つたい垣根伝いに春の猫
大庭 良子
受験子へ声も高らに送りけり
高子たちはな
北窓の雫を乱す雪解風
制野 リエ
評一首目、ひと雨ごとに春になる。白石城
にも春を呼ぶ細雨が降る、城山がよい。二句
目、餌付けをしてくる沼守と鳥たちとの別れの
日が来た。雲間に消えてゆく渡り鳥に帽子を
振る、沼守の目に涙がにじむ。三句目、めで
たい句、米寿とは八十八歳の賀の祝のこと。
ご夫婦共に健康で米寿とはうれしいことであ
る。山笑ふは春の山のことであり、山々もこ
のご夫婦にほほ笑みかけて祝うよつである。

仲裁を買って吞ませる羽目になり 草野 清
札束へうっかりしつぽ振った悔い 佐藤 武雄
春三月義理を果たして空財布 佐藤 尚志
人混みの中でクシャミに距離をおく
鏡さえなければ私二十歳です 鈴木 希市
持病薬旅のお供に連れてゆく 小野嘉津子
よい知らせ息をひそめて待つ家族 四重 英夫
活力を与えてくれる孫が来る 水戸 光穂
愉しみは二免も三免も追ってみる
人づくり大学欲しい神の国 石田 芹菜
阿部はぎの
評一句目、時の氏神、金は出しても人柄が
買われることに。二句目、上は大臣から下は
我々まで札束には弱い。やがて後悔する羽目
に。三句目、禪と義理は外すな、固くすべき
か否か?迷っているうちに財布が底をつく。
「春四月待つてはくれぬ義理袋」世は不況で
も、作句は盛況でありますよう祈ります。

国際コーナー International Corner

仕事のひとつとして、時々小学校などを訪問します。この訪問の目的は、子供たちに外国語に触れる機会や、外国の生活・文化に慣れ親しむ機会を持たせて、世界に対する興味や関心を高めるということです。

「この交流で、子供たちの心に残ってほしいことは何ですか?」という質問を最近されました。学校を訪問すると、子供たちに簡単な英会話を教えたり、ゲームをしたり、アイルランドについて話したりして、いつもとても楽しい一日を過ごします。しかし、私の訪問から残してほしい印象はただ一つです。それは、「外国人であっても、日本人であっても、私たちは同じ人間」ということです。

日本でよく使われている言葉は「外人」という言葉です。「外人」と日本人の区別はとてはっきりしていると思います。日本人でない人は皆「外人」と呼ばれて、違う目で見られているでしょう。外国人を見ると、「外人だ!」と言って、じっと見つめる日本人がたくさんいます。きっと、この人たちは外国人を同じ人とは見ていないのでしょう。

若いうちから、子供たちにこのことを分かってもらえたら、私はとてもうれしいです。世界はいろいろな国から成り立っています。日本だけではありません。顔、言葉、宗教と文化が違って、みんな同じひとりの人間なのです。



「言葉、宗教、文化...が違って、みんな同じひとりの人間です。(第二幼稚園にて)」

私たちが応援しています 国体ボランティア①

白石市地域婦人団体連絡協議会

私たちは、選手や応援に来た方々にお茶やコーヒー、麦茶などをサーブスする接待係を務めます。昨年の新体操りハーサル大会では、4日間の接待を通して、各県の選手や見学者の皆さんと、「心のふれあい」ができたことに大きな喜びを感じています。



喜びを感じています。本番となる今年の大でも、多くの来白者に「白石キユーブに来て良かったね」という言葉が聞こえるような接待の在り方をみんな工夫し、力を出し合って成功させたいと考えています。

そのためには、十分な話し合いの中で、会員や関係者の皆さんからの声を聞き、落ち度のない接待の組み立てが必要だと思えます。例えば、休憩所のテーブルやお手洗いなどにさりげなくお花を置くことで、来客の皆さんの心をいやしてあげたり、清潔さへの気配りなどで「優しさ」や「温かさ」を感じていただければと思っています。現在、花びんはワンカップをアルミホイルで包んで...花はできるだけ会員が持ち寄って...と検討しているところです。

「みんなで成功させよう」を合言葉に、白石の名に恥じない最高のもてなしをしたいと思えます。

成功させよう! みやぎ国体白石市は「新体操競技」と「山岳競技」の開催地です。

